

環境活動レポート
2010年度
田辺倉庫株式会社

目次

1. 会社概要	2
2. 環境方針	3
3. 前年度の環境目標とその実績	4
4. 前年度の主要な環境活動計画（具体的取組内容）及びその実績、評価結果	6
5. 今年度の環境目標と活動計画（施策）	7
6. 主な環境活動のご紹介	8
6. 1 緊急事態対応訓練を実施	8
6. 2 デマンド監視システムによる電気使用量の軽減活動（板妻）	9
6. 3 清掃活動に協力（宮内）	10
7. 環境関連法規制への違反、訴訟等の有無	11
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	11
履歴表	12

1. 会社概要

(1) 事業所及び代表者氏名

事業所名 : 田辺倉庫株式会社
 代表者氏名 : 田邊 敬勝 (代表取締役)
 URL : <http://www.tanabesouko.co.jp>

(2) 本社所在地 : 〒213-0005 神奈川県川崎市高津区北見方1-26-1 関連事業所

宮内営業所 : 〒211-0051 神奈川県川崎市中原区宮内2-32-1
 板妻営業所 : 〒412-0048 静岡県御殿場市板妻長島763-10
 御殿場営業所 : 〒412-0038 静岡県御殿場市駒門1-150
 北見方営業所 : 〒213-0005 神奈川県川崎市高津区北見方1-19-1
 下野毛営業所 : 〒213-0006 神奈川県川崎市高津区下野毛1-12-26

(3) 環境管理統括者 : 佐藤 知也 (常務取締役)

(4) 環境管理責任者 : 佐藤 知也 連絡先 TEL : 044-844-7771 FAX : 044-822-0973

(5) 事業概要 : 倉庫事業 (物品の保管、荷役、流通加工及び情報処理業務)

(6) 事業規模 (2011年7月現在)

従業員数 : 159名 (パート、アルバイト含む) 営業坪数 : 3,482坪

総計

項目	CO ₂ 総排出量	電力使用量	ガソリン使用量	一般廃棄物 排出量	水使用量
2009年度	251,177Kg-CO2	501,896Kwh	7,089L	2.82t	2,005 m ³
2010年度	215,317Kg-CO2	500,204Kwh	6,520L	2.48t	2,132 m ³

営業所	CO ₂ 総排出量	電力使用量	ガソリン使用量	一般廃棄物 排出量	水使用量
本社	7,587Kg-CO2	15,061Kwh	556.45L	0.19t	50 m ³
宮内営業所	10,457Kg-CO2	3,227Kwh	4,484L	0.10t	-
板妻営業所	49,579Kg-CO2	103,658Kwh	961L	0.17t	1,249 m ³
御殿場営業所	30,285Kg-CO2	78,869Kwh	-	-	336 m ³
北見方営業所	81,545Kg-CO2	209,226Kwh	518L	1.89t	280 m ³
下野毛営業所	35,861Kg-CO2	93,390Kwh	-	0.12t	217 m ³

※2010年度は2010年7月から2011年6月末まで

2. 環境方針

環境方針

[環境理念]

田辺倉庫株式会社（以下当社とする）は、事業活動を通じて美しい地球を守ることも重要な経営課題である事を認識し、美しい自然と豊かな資源を次世代に残す責任があると考え、環境保護に対して継続的企業努力を行い、次に定めた5つの環境方針を基に企業としての社会的責任を果たしてまいります。

[環境方針]

1. 法規制等の遵守
環境保全に関する諸法規を遵守します。
2. 資源・エネルギーの効率的利用
廃棄物の削減と資源の保全を推進し、省エネルギー活動に努めます。
（1）納入・配送業者へのアイドリングストップ活動に努めます。
（2）梱包資材リサイクル等の有効活用に努めます。
3. 継続的環境改善と予防
目的・目標を設定し、取り組み結果を見直す事により継続的に環境を改善し、環境汚染の予防に努めます。
4. 従業員への教育
環境教育により全社員と組織に関わる人たちに、自覚と意識を高めさせ全員参加の活動を行います。
5. 環境啓蒙活動内容の開示
社内外に対して、活動内容を開示し社会とのコミュニケーションを図る事を最大限努力します。

2009年5月21日 制定

2010年7月15日 改訂

田辺倉庫株式会社

代表取締役社長 田邊 敬勝

3. 環境目標とその実績

〈2010年度〉

	中期目標	2010年度目標	実績
1	2012年6月末までに、二酸化炭素排出量を、2008年度比40%削減する。	2011年6月末までに、二酸化炭素排出量を、2008年度比35%削減する。	目標達成
2	2012年6月末までに、一般廃棄物排出量を、2008年度比10%削減する。	2011年6月末までに、一般廃棄物排出量を、2008年度比6%削減する。	目標達成
3	—	2011年6月末までに、資源物のリサイクルフローを、確立する。	目標達成
4	2012年6月末まで、水使用量を、2008年度同水準に維持する。	2011年6月末まで、水使用量を、2008年度同水準に維持する。	目標未達
5	2012年6月末までに、コピー用紙のグリーン調達を、総購入重量当たり100%へ。	2011年6月末までに、コピー用紙のグリーン調達を、総購入重量当たり50%へ。	目標達成
6	2012年6月末までに、エネルギー削減提案を、月に1件以上提案する。	2011年6月末までに、エネルギー削減提案を、四半期に1件以上提案する。	目標達成
7	継続的な従業員教育を行う。	四半期に1度、環境に対する意識を高める教育を行う。	目標達成

※御殿場営業所及び宮内営業所の電気使用料は通常業務時間をもとに目標値を設定している。

1 二酸化炭素排出量の抑制

2008年の環境負荷実績を排出基準値とし、2010年度目標値を決定しています。

項目	基準値 2008年度	2009年度実績		2010年度実績	
		目標値	実績値	目標値	実績値
二酸化炭素排出量 (Kg-CO2)	309,874.0	216,911	251,177	201,418	215,317

2 一般廃棄物排出量の抑制

二酸化炭素の排出量と同様に2008年の環境負荷実績を排出基準値とし、2010年度目標値を決定しています。

項目	基準値 2008年度	2009年度実績		2010年度実績	
		目標値	目標値	目標値	実績値
一般廃棄物排出量 (t)	4.761	4.570	4.475	4.475	2.488

3 資源物リサイクルフローを確立する

業者選定・契約書の締結・適正処理の確認

4 水使用料の維持

二酸化炭素の排出量と同様に 2008 年の環境負荷実績を排出基準値とし、2010 年度目標値を決定しています。

項目	基準値 2008 年度	2009 年度実績		2010 年度実績	
		目標値	実績値	目標値	実績値
水使用量 (m ³)	1,566	1,566	2,005	1,566	2,132

5 コピー用紙のグリーン調達を総購入量当たり 50%へ

項目	2009 年度実績		2010 年度実績	
	目標値	実績値	目標値	実績値
グリーン調達購入量 /総購入量 (%)	50	69	50	100

6 エネルギー削減提案を四半期に 1 件以上提案する。

研修時に「提案書」を配布し実施した。

7 継続的な従業員教育を行う。四半期に 1 度環境に対する意識を高める教育を行う。

	第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期
教育項目	環境基本教育	エコドライブの すすめ	地球温暖化現象 を考える	節電アクション

4. 前年度の主要な環境活動計画（具体的取組内容）及びその実績、評価結果

2010年度

	活動計画／施策	評価結果 達成：○ 未達成：×
1	<ul style="list-style-type: none"> ■購入電力の抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・空調の適正使用 ・機器不使用時の節電 ・消灯 ■化石燃料の抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ ・モーダルシフト ■その他 <ul style="list-style-type: none"> ・集計方法の確立 	○
2	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物 <ul style="list-style-type: none"> ・分別の徹底・分別のチェック 	○
3	<ul style="list-style-type: none"> 資源物のリサイクルフローを確立する <ul style="list-style-type: none"> ・業者選定・契約書締結・適正処理の確認 	○
4	<ul style="list-style-type: none"> ・節水啓蒙活動 	○
5	<ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮商品の購入 ・選定方法の確立 ・集計方法の確立 	○
6	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー削減提案 <ul style="list-style-type: none"> ・提案方法の確立 	○
7	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に対する継続的な教育の開催 ・環境意識を高める場の提供 	○

5. 今年度の環境目標と活動計画（施策）

2011年度

	中期目標	年度目標	活動計画 ー具体施策ー
1	2014年6月末までに、 二酸化炭素排出量を、 2010年度比20%削減する。	2012年6月末までに、 二酸化炭素排出量を、 2010年度比15%削減する。	<ul style="list-style-type: none"> ■購入電力の抑制 ・空調の適正使用 ・機器不使用時の節電 ・消灯 ■化石燃料の抑制 ・エコドライブ ・モーダルシフト
2	2014年6月末までに、 一般廃棄物排出量を、 2010年度比12%削減する。	2012年6月末までに、 一般廃棄物排出量を、 2010年度比4%削減する。	<ul style="list-style-type: none"> ・分別の徹底 ・分別のチェック、パトロール
3	2014年6月末までに、 紙購入量を2010年度比12%削減する。	2012年6月末までに、 紙購入量を前年度比4%削減する。	<ul style="list-style-type: none"> ・紙購入量の抑制管理 ・縮小コピー・両面コピーの促進 ・裏紙利用
4	2014年6月末まで、 水使用量を、 2008年度同水準に維持する。	2012年6月末まで、 水使用量を、 2008年度同水準に維持する。	<ul style="list-style-type: none"> ・節水啓蒙活動 ・節水協力の掲示
5	2014年6月末までに、 エネルギー削減提案を、 月に1件以上提案する。	2012年6月末までに、 エネルギー削減提案を、 月に1件以上提案する。	<ul style="list-style-type: none"> ・提案方法の確立
6	継続的な従業員教育を行う。	四半期に1度、 環境に対する 意識を高める教育を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に対する継続的な教育の開催 ・梱包資材リサイクル活動の教育

6. 主な環境活動のご紹介

6. 1 緊急事態対応訓練を実施

倉庫業と車両による輸送は切っても切れない関係にあります。たとえば貨物搬入車両からオイルが漏れたらどうすればよいか。常日頃から訓練と確認を行うことでそのような事態にも冷静に対処できる体制を構築しています。

実施営業所一覧

対象営業所	北見方営業所	下野毛営業所	御殿場営業所	板妻営業所
開催日時	2010年10月27日	2010年10月26日	2010年10月27日	2010年11月2日

各営業所は訓練を繰り返す事で、対応を身につけています。

【トラックより油漏れを想定した訓練の様子】



オイル漏れ発見

吸着マットにて処置



報告

図 1 2010 年度緊急事態対応訓練の風景(御殿場営業所)

6. 2 デマンド監視システムによる電気使用量の軽減活動（板妻営業所）

弊社の環境負荷を考察すると電気使用量が大きな割合を占めることがわかりました。電気の使用状況を監視・分析し、電気の使いすぎを知らせてくれるシステムを導入いたしました。このシステムは最大需要電力（デマンド）値が上がらないようコントロールしてくれるものです。具体的にはモニターが電気使用量により変化し知らせてくれます。デマンド値が上がると、モニターの顔が変化し、最悪の場合赤いアラームがでます。更に具体的にエアコンを1台または2台運転停止等メッセージを出してくれます。



平常時



デマンド値上昇時

図 2 デマンド監視モニター図

今般導入に伴い契約電力を15%の削減が図れることになりました。昨今の電力事情が厳しい折、このシステムで「見える化」と「理解る化」が可能になりましたので、更に節電に取り組んで参ります。

6. 3 清掃活動に協力（宮内営業所）

身近で誰にでもできる環境活動として、地域の清掃活動を実施しています。通勤経路としても利用している近隣の二ヶ領用水沿線を清掃しました。総勢50名以上が参加致しました。



図 3 清掃活動の様子

7. 環境関連法規制への違反、訴訟等の有無

当社が実施した遵守評価等の結果、過去3年間の上記環境関連法規制の違反及び利害関係者からの指摘、訴訟はありませんでした。

- ※「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等、18法
- ※「神奈川県環境の保全等に関する条例」等、6条例
- ※「顧客要求事項」等、2事項

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

全体評価

節電に関しては、3.11の震災により計画停電なども実施されたこともあり、かなりの水準で達成できたと考えております。継続して節電活動の実施をお願いいたします。

コピー用紙の裏紙使用に関して、PMSの活動に支障がないものに関しては積極的に取り組んで下さい。業務委託先からの個人情報データの流出事故が多くみられます。当社のお取引先も非常に敏感になっておりますので、コピー紙の再利用についてはルール作成を徹底し、個人情報を含む内容の物が混在することが無いように細心の注意をお願いいたします。

見直しの結果

環境活動計画の見直しが必要と判断致しました。

全社的な業務改善活動プログラム（品質・環境及び業務改善提案）を実施しており、年1回の全社発表と報奨制度を決定致しました。

環境活動に関しても、上記の業務改善プログラムとリンクさせ教育内容を充実させ改善提案が提出されるようにして下さい。

以上

履 歴 表

標準類管理番号 EA-001	名 称 環境活動レポート
-------------------	-----------------

版数	年月日	変更内容・理由	作成部門			
			承認	査閲	作成	部門名
01	2011/8/31	新規制定	田邊		佐藤	総務部環境管理推進事務局
02	2011/12/19	代表者による全体評価と見直し結果を追加記述した。	田邊		佐藤	総務部環境管理推進事務局